

特集

出張!! なんでも意見交換会

# ゆざわ ジオパークガイドの会 × 産業建設常任委員会

令和4年10月27日実施

「議員と語り合おう 出張!! なんでも意見交換会」  
今回は、ゆざわジオパークガイドの会の会員7名の皆さんから、

## 「地域資源の魅力と 情報発信の方向性」

について語っていただきました。



# 市民にジオパークを知ってもらうことが認知度を高めるカギ 市や事業者と連携し、地熱とともにジオパークを売り込む

### Q. ガイドの会の状況と活動内容は?

■登録者は53人。仕事がある人は土・日曜日のみの活動で、平日は主に60歳以上の人が活動している。  
■ジオパークの案内だけではなく、ジオパーク関連の研修会に参加したり、ジオパークを紹介する冊子を作成したりしている。  
■コロナの影響もあって、県内の修学旅行や校外学習（フィールドワーク）が増えている。令和3年度は、修学旅行も含め約90件、2700人に対応した。  
■ジオパークを訪れる県外の人も多くなっている。北海道や関西方面の車も

見受けられる。  
■湯沢市内には複数のガイドの会があるが、交流や情報交換などはあまり行われていない。複数の会に登録している人が多い。

### Q. ゆざわジオパーク認定商品について

■認定商品は23品ある。たくさんあるように見えるが、工芸品のほか、食品、お酒など実質10社しかない。湯沢市は稲庭うどんが有名だが、それも1社だけである。  
■研修などで新潟県糸魚川市に行くと、いろいろなものに認定商品のシールが貼ってあり、それを買うだけでもお土産となる。逆に湯沢からジオ

◎湯沢市 観光・ジオパーク推進課 高橋聡  
課長(湯沢市ジオパーク推進協議会事務局長)  
にお話しを伺いました。

石川委員長 ジオパークの認知度をさらに高めるための取組は?

高橋聡課長 市民が集りやすい市役所の市民ロビーで、ジオパークスタンプラリーののぼりを立て、インフォメーションボードを設置して継続的にPRを行っています。また今年度は、ガイド料を無料にし、ガイドの皆さんが呼び込みをしながらガイドをする